

# 琉球大学学術リポジトリ

## 大阪大学のラーニング・コモンズにおける教員やTAとのコラボレーション

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2011-02-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 上原, 恵美 (大阪大学附属図書館) , Uehara, Emi メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/18848">http://hdl.handle.net/20.500.12000/18848</a>



## ラーニング・コモンズにおける 教員やTAとのコラボレーション 大阪大学附属図書館の事例

上原恵美（大阪大学附属図書館 理工学図書館）

これからの図書館を考える-琉球大学附属図書館ワークショップ  
2011年2月17日 琉球大学附属図書館 多目的ホール

# 内容

---

1. お話の主旨
2. 大阪大学のラーニング・コモンズ
3. ラーニング・コモンズで行われていること
4. ラーニング・コモンズで何が変わったか
5. 「ラーニング・コモンズ」の背景にあるもの
6. 誰とコラボレーションするのか
7. コラボレーションが可能な関係作りのために

# お話の主旨

---

- ▶ ラーニング・コモンズは「学びの場」である
- ▶ 図書館職員も「学習理論」を学ぼう
- ▶ 図書館職員は学習支援組織の一員である
- ▶ 大学は図書館を上手に活用しましょう

# 大阪大学のラーニング・コモンズ（特徴）

---

- ▶ きっかけは耐震改修計画
  - 当時のキーワードは「学習図書館環境の整備」
- ▶ 授業や講座が行われている
  - 教員の授業（単位あり）
  - 教員と図書館職員の協働講座（単位なし）
  - ラーニング・コモンズで授業を実施するための要項を制定
- ▶ TA（Teaching Assistant）の活動が行われている
  - 毎年度予算要求を行い予算確保、各研究科長にTA推薦依頼
  - 日本人だけでなく留学生も活動中

# 本学のラーニング・コモンズ（キャッチコピー）

---

## ▶ **TeachingからLearningへ**

-21世紀の大学教育は、  
Teaching から Learning へ大きく変化

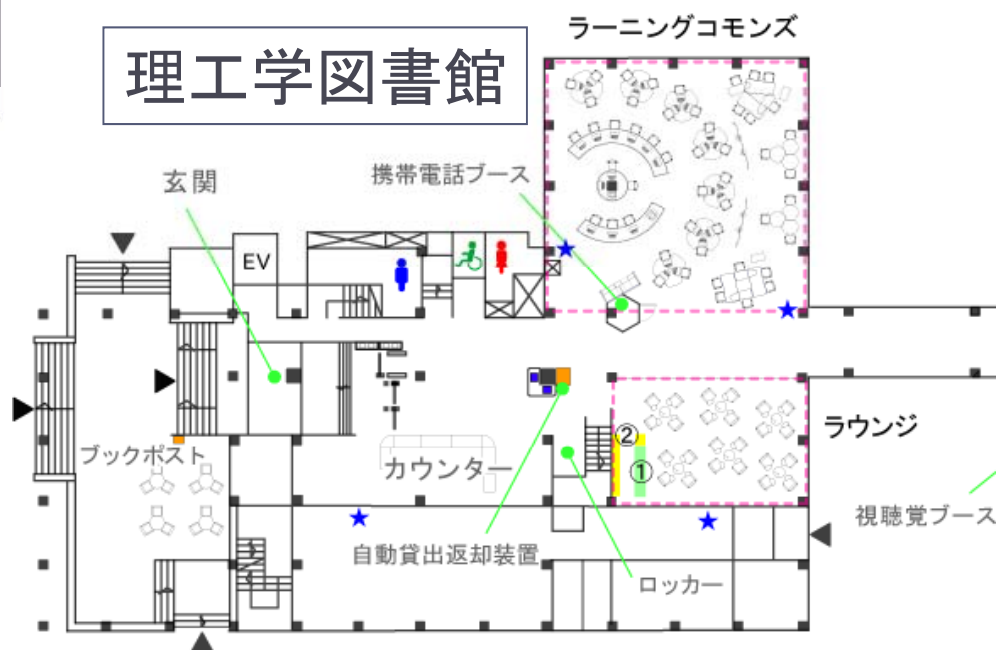
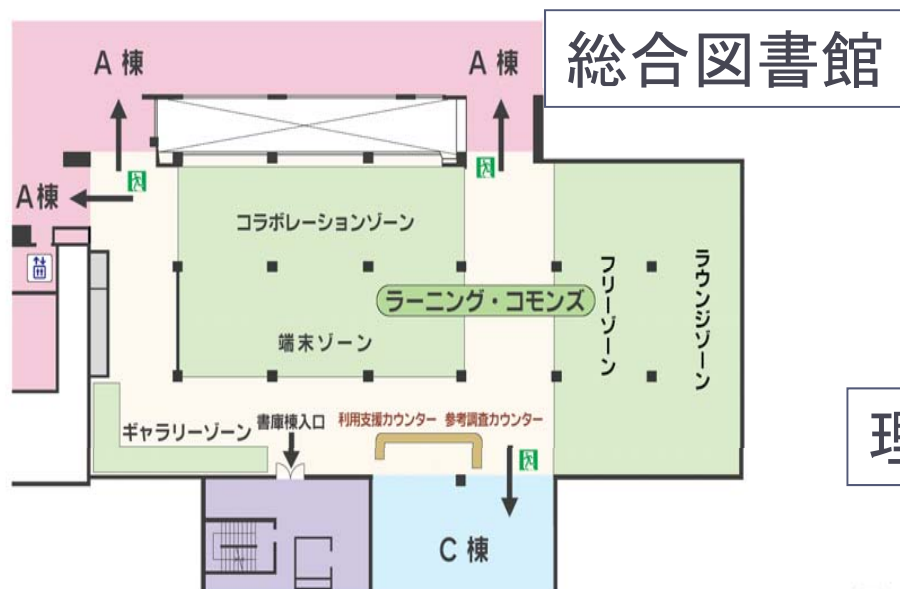
## ▶ **ReadingからLearningへ**

-教育・研究を支えることを最大の役割とする図書館では、従来の講義中心の授業法とは異なる、自主的な課題解決型学習を支援するため、「ラーニング・コモンズ」を開設

『阪大Now』(no.112 p.4-7, 2009)

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/publicrelation/now/files/now112.pdf>

# 本学のラーニング・コモンズ（概要）



	総合図	理工図
面積	756m <sup>2</sup>	236m <sup>2</sup>
PC	18台	29台
貸出PC	24台	4台
座席数	78席	40席

# ラーニング・コモンズで行われていること

## ▶ 授業 大学教育実践センター所属の准教授が実施

研究テーマ(阪大研究者総覧による)

数理工学/非線形物理学/コンピュータシミュレーション/言語データベース/多言語処理/コンピュータ・リテラシー

### ① システム開発ことはじめ(共通教育基礎セミナー)

期間:後期(毎週金曜日) 募集人員:5名程度

### ② 図書館パスファインダーを作ってみよう(共通教育基礎セミナー)

期間:後期(毎週木曜日) 募集人員:5名程度



②の成果は大学教育実践センターWebサイトに掲載されています

<http://bit.ly/i1k2N0>



# ラーニング・コモンズで行われていること

## ▶ 講座

- ① レポートの書き方講座(全3回 各回90分 学部1年次対象)  
期間:2010年6月毎週1回 募集人員:毎回20名程度  
講師:大学教育実践センター 准教授
- ② 論文の書き方&文献の読み方 プチ・ゼミナール(全4回 各回90分)  
期間:2010年12月-2011年1月毎週1回 募集人員:10名程度  
講師:大学教育実践センター 准教授、附属図書館職員



# ラーニング・コモンズで行われていること

## ▶ 講座

### レポートの書き方講座

(全3回)

大学ではいろいろな講義でレポートの提出が求められます。しかし、何から手をつけてよいのか、どう書いたらいいのかわからなくて困っていませんか？  
実習を繰り返せたこの連続講座で、レポートを書く際の基本的な考え方や手順を身につけてみましょう。

**【第1回】 6月3日(木) 5限(16:20~17:50)**  
テーマ: 「まずは形から入ろう」  
レポートの形式の整え方を学びます

**【第2回】 6月10日(木) 5限(16:20~17:50)**  
テーマ: 「最低限のルールを守ろう」  
調査や引用の仕方、参考文献の書き方を学びます

**【第3回】 6月17日(木) 5限(16:20~17:50)**  
テーマ: 「よりよいレポートにするために」  
論の構成や展開方法について学びます

場所: 豊中キャンパス 総合図書館  
B2F ラーニングコモンズ  
講師: 堀 一成 准教授(大学教育実践センター)  
対象: 学部1年次生 (※希望があれば1年次生以外も可)  
定員: 各回 20名 (事前申込制)  
備考: ノートパソコン持参のこと(MS-Word必須)

参加希望者は、氏名・所属・学年を明記の上、下記までメールにてお申込ください。  
申込先 [sogo-kouza@library.osaka-u.ac.jp](mailto:sogo-kouza@library.osaka-u.ac.jp)  
※先着順で定員になり次第締切とします。

お問い合わせ先: 附属図書館 利用支援課 サービス企画担当  
E-mail: [sogo-kouza@library.osaka-u.ac.jp](mailto:sogo-kouza@library.osaka-u.ac.jp) / TEL: 06-6850-5056

## 論文の書き方 文献の読み方 プチ・ゼミナール

テーマ: 「論文をどう書くか、文献をどう読むか」  
4回の講義・実習を通して論文の書き方のコツを学ぶ

日時: 12月7日(火) ~ 1月11日(火) 5限(16:20~17:50)

12/7	第1回	「書く① 論文とは？」
12/14	第2回	「読む 書くための読み方」
12/21	第3回	「書く② 論文を組み立てる」
1/11	第4回	「まとめ、個人発表」

場所: 総合図書館B棟2F ラーニングコモンズ  
講師: 堀 一成 (大学教育実践センター准教授)  
赤井規晃 (附属図書館専門職員)

定員: 10名まで (先着順、定員になり次第〆切)

申込: [sogo-kouza@library.osaka-u.ac.jp](mailto:sogo-kouza@library.osaka-u.ac.jp) へて氏名・学部・学年を明記の上、件名に「プチゼミ受講希望」と書いてメールを送信

備考: ①必須要件として、事前に論文の企画書を作成・提出できること  
内容については、別途受講希望者に連絡します。なお、実際に論文を執筆する必要はありません。  
②Microsoft Wordが使えるノートパソコン持参のこと

# ラーニング・コモンズで行われていること

## ▶ TAの活動時間

**総合図書館**  
文系・理系の各研究科のTA6名が担当します。

	月	火	水	木	金
文学研究科TA	13:00-15:00	12:00-14:00	15:00-17:00	16:00-18:00	
経済学研究科TA					
理学研究科TA	16				
工学研究科TA					

**理工学図書館**  
工学研究科のTAを中心に7名が担当します。( )内は専攻分野です。

	月	火	水	木	金
理学研究科TA (物理学)				12:00-15:00	
医学系研究科TA (保健学)	14:00-17:00				12:00-14:00
工学研究科TA (ビジネスエンジニアリング)		15:00-17:00	14:00-17:00		
工学研究科TA		12:00-15:00	18:00-20:00		
				17:00-19:00	14:00-17:00
	12:00-14:00				

詳しくは:

TAのページ

<http://www.library.osaka-u.ac.jp/ta/ta.htm>

年次報告等のページ

<http://www.library.osaka-u.ac.jp/nenzi/nenpoidx.htm>



# ラーニング・コモンズで行われていること

## ▶ TAによる講習会



総合図書館のTAは  
オレンジ色のエプロン  
が目印

# ラーニング・コモンズで行われていること

---

## ▶ TAによる講習会

- [CiNii 講習会【pdf:1.57MB】](#)
- [Scopus 講習会\(総合図書館TA作成\)【pdf:536KB】](#)
- [Scopus 講習会\(理工学図書館TA作成\)【pdf:334KB】](#)
- [Derwent Innovations Index 講習会【pdf:1.58MB】](#)
- [Journal Citation Reports 講習会【pdf:1.29MB】](#)
- [JDreamII 講習会【pdf:449KB】](#)
- [Medline 医学・生物学研究のための検索エンジン活用【pdf:2.12MB】](#)
- [SciFinder 講習会【pdf:798KB】](#)
- [Web of Science 講習会【pdf:1.84MB】](#)
- [人文系資料の探し方【pdf:1.89MB】](#)
- [外国語文献の検索と入手方法【pdf:1.02MB】](#)

# ちなみに・・・ TAの活動について

---

## ▶ TAによるおすすめ本リスト

### 専門別関連図書リスト

- [TAが選ぶ、物理学関連図書リスト【pdf:90KB】](#)
- [TAが選ぶ、応用理工学科\(機械向け\)関連図書リスト【pdf:81KB】](#)
- [TAが選ぶ、機械工学関連図書リスト【pdf:104KB】](#)
- [TAが選ぶ、マテリアル関連図書リスト【pdf:97KB】](#)
- [TAが選ぶ、土木関連図書リスト【pdf:91KB】](#)
- [TAが選ぶ、ビジネスエンジニアリング専攻関連図書リスト【pdf:100KB】](#)
- [TAが選ぶ、医学保健&統計関連図書リスト【pdf:170KB】](#)

# ちなみに・・・ TAの活動について

---

## ▶ テーマ別推薦リスト

### テーマ別推薦リスト

- [留学生向けの日本語勉強に関する本リストその1](#) 【pdf:103KB】[文学研究科TA作成](2010.2)
- [留学生向けの日本語勉強に関する本リストその2](#) 【pdf:99KB】[文学研究科TA作成](2010.2)
- [中近世庶民信仰の絵画](#) 【pdf:60KB】[文学研究科TA作成](2010.2)
- [知られざるイタリア](#) 【pdf:135KB】[経済学研究科TA作成](2010.2)
- [映画と一緒に読もう！](#) 【pdf:129KB】[経済学研究科TA作成](2010.2)
- [勉強しやすい化学演習本リスト](#) 【pdf:78KB】[理学研究科TA作成](2010.2)

ちなみに・・・

## TAの活動について

---

### ▶ 今年度から始めた講習会

-図書館ツアー

オンデマンド方式による実施

留学生のTAの協力により外国語による実施

-図書館以外のトピックを扱う講習会

(理工学図書館の例:工学系の博士の歩き方、海外インターンシップ、etc)



# ちなみに・・・ TAの活動について

## ▶ 今年度から始めた講習会

Osaka University Library Current News No.97 Oct. 2010

**総合図書館  
ティーチングアシスタント  
三二講習会 TA**

総合図書館ラーニング・ commonsにて  
11月上旬より順次開催します！

**プレゼンテーション  
に挑戦しましょう！  
講習会**

日時  
11月09日(火) 15:10-15:40  
11月24日(水) 12:40-13:10

Presented by  
工学研究科 Thang  
大阪大学個人ID/PWをご用ください

貸出期間を延長！  
貸出中の図書予約！  
他館・学外の図書館からの取寄せ！  
など、サービスは多彩です。

どのようなケースでの利用  
本当に効果的なのか...

**図書館  
Web サービス  
活用法**

11月25日(木) 13:10-13:40  
12月3日(金) 15:40-16:10  
理学研究科 久後

**学外の専門図書館  
資料館**

味の素のライブラリー  
松下幸之助歴史館

日時: (各回同一内容)  
第1回 11月12日(金) 13:10~13:40  
第2回 11月17日(水) 15:00~15:30

講師: 総合図書館TA 林 (経済学研究科)

お気軽に聴きに  
きてください！  
予約不要です！

※各講習会は同一内容を  
2回ずつ行います。

**エスノグラフィ  
という  
フィールドワーク**

調査者自身が  
現場に組み込まれていく中での研究

11月25日(木) 16:10-16:40  
11月29日(月) 14:00-14:30  
文学研究科 堀川

**理工学図書館 三二講習会 開催！**

**Excel の上手な使い方**

講習内容  
◆ Excelとは何か  
◆ Excelで計算  
◆ Excelでグラフ作成！  
◆ 様々な機能を試してみよう！  
◆ おすすめのExcel書籍

日時: 22年12月8日(水) 18:10-18:30  
場所: 理工学図書館ラーニング・commons

**PowerPointの上手な使い方**

講習内容  
◆ パワーポイントとは何か  
◆ PowerPointを使うメリット  
◆ 様々な機能を試してみよう  
◆ おすすめのパワーポイント書籍

日時: 22年12月15日(水) 15:00-15:20  
場所: 理工学図書館ラーニング・commons

**工学系の  
博士の書き方**

2010. 12/14  
13:30 - 14:00

場所: 理工学図書館ラーニング・commons

**IAESTE 海外インターンシップ**

12月13日(土) 15:00-16:30

1. IAESTEの説明  
2. IAESTEのインターンシップ  
3. 応募～試験～参加までの流れ  
4. インターンシップの種類(ドイツ)

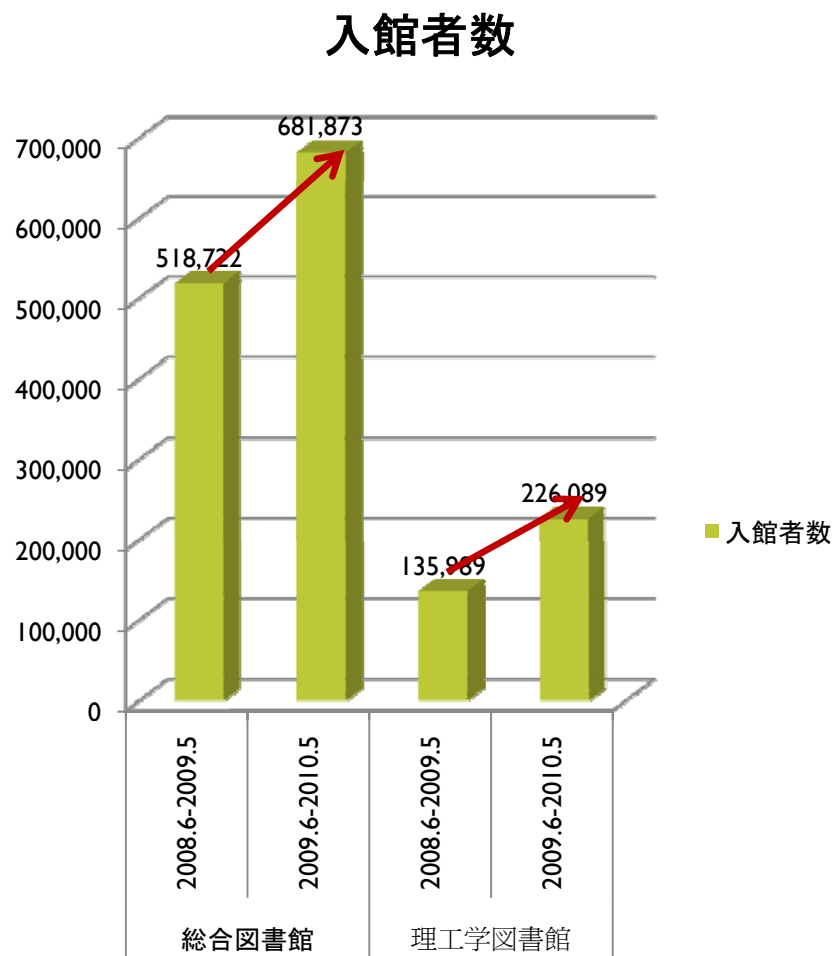
**ポータルシステムの活用術**

12/13  
12:20 ~ 12:45

WebCT  
KOAN  
電子ジャーナル

# ラーニング・コモンズで何が変わったか

## ▶ 入館者数の増加



前年度比

総合図書館 約31%増

理工学図書館 約66%増



ラーニング・コモンズ設置済みの大学図書館は、どこも同様の傾向にある

# ラーニング・コモンズの背景にあるもの

---

- ▶ 居心地の良ければ入館者は増加する、しかし・・・
  - 話せるから、PCがあるから、カフェがあるから、・・・
  - 学生の居場所作り、確かに必要だが、図書館が？
- ▶ ラーニング・コモンズとは何か
  - 「大学の使命・教育目標や学習成果を規定するアカデミックユニットの目標と合致した情報サービスや教育活動が実施されているか」が、ラーニング・コモンズたらしめるポイント
    - 山内祐平編著『学びの空間が大学を変える』(p.105 ボックス、2010)
  - 図書館外にラーニング・コモンズを設置することも「アリ」
  - 大学図書館の危機感
    - ネット上の情報源の増加、学術情報流通の中で図書館が「中抜き」
    - 学内での存在感が希薄に

# ラーニング・コモンズの背景にあるもの

---

- ▶ 大学における学習のあり方を可視化する図書館
  - 「情報化に対応した図書館」では不十分

- ▶ 背景にあるもの、それは学習理論

- TeachingからLearningへ 学習観のパラダイムシフト

- 「構成主義」「社会的構成主義」など

- ピアジェ(発達心理学・スイス)が人間の認識は主体・客体間の相互作用によるものと1970年に指摘

- レフ・ヴィゴツキー(心理学・ソビエト)が学習の社会性を1962年に指摘

- 学習を、頭の中への知識の集積ではなく、さまざまな場所に分散している知的リソースや周囲のアーティファクトを活用しながら、他者とのコミュニケーションを通じてコミュニティに参加し、そこで意味のある知識を構築するものとして捉える 山内祐平編『デジタル教材の教育学』(p.54 東京大学出版会2010)

- ▶ 図書館の空間に「学びの仕組み」(状況)を埋め込む

- 学びの設計図のないオープン・スペースはただの「広場」

- 仕組み作りは、図書館職員だけでは不可能

---

# 誰とコラボレーションするのか

---

## ▶ 教員

-「図書館は教育のよきパートナー」として感じてもらうには

## ▶ TAは有力なサポーター

-長期的な学習支援のための人材養成(PreFD)

## ▶ 図書館職員の役割は何か

-ラーニング・コモンズの活用を教員に働きかける

-教員の力を借りて学びの仕組みを図書館に埋め込む

-TAと「チーム」を組む

-図書館職員は学習支援コミュニティの一員であると認識してもらいましょう



# コラボが可能な関係作りのために

## ▶ 大阪大学理工学図書館の試み

①サイエンス・カフェの誘致(学生団体とのコラボ)2009

②English Café in Suitaの誘致

(工学部/工学研究科高度人材育成センター・留学生相談部とのコラボ)2010

③授業の誘致 (「大学院科目 工学英語II」とのコラボ)2011



# コラボが可能な関係作りのために

## ▶ 大阪大学理工学図書館の試み



ギャラリーでポスター発表のロールプレー



グループ学習室で国際学会の受付とプレゼンの  
ロールプレー

「大学院科目 工学英語II」の誘致

# コラボが可能な関係作りのために

---

## ▶ 図書館機能の開発

- *Reading*から*Learning*へ、情報提供機能、保存だけに止まらないサービス
- 「学習」に関する理解を深める

## ▶ 大学も試されている

- *Teaching*から*Learning*へ、学内の教育資源である図書館と図書館職員をいかに有効活用できるか



---

ご清聴ありがとうございました

# 参考文献

---

前出の他に、

名古屋大学附属図書館研究開発室『名古屋大学附属図書館研究年報』第7号(2008)特集「ラーニング・コモンズ」 <http://libst.nul.nagoya-u.ac.jp/index.html>

加藤信哉編訳『ラーニング・コモンズ基本論文集』(科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書;平成19～21年度.電子情報環境下において大学の教育研究を革新する大学図書館機能の研究,2010.3)